

阿久比一期一会荘だより

令和3年4月号

〒470-2212

知多郡阿久比町大字卯坂字桜ヶ丘 195 番地
特別養護老人ホーム 阿久比一期一会荘

TEL : 0569-47-0205 FAX : 0569-47-0208

新型コロナウイルスとの向き合い方

社会福祉法人一期一会福祉会

副理事長・本部長 白井 正和

日本国内で新型コロナウイルスへの感染報告が報道され、本格的な対策が始まってから1年が経ちました。この間緊急事態宣言が発令され自粛生活を送った時期もあれば、Go To 関連政策が実施され、感染予防をしながらも積極的な活動をしていた時期もあり、今年一年様々な経験をさせて頂きましたが、今年の春も昨年同様に多くの行事が中止されており、残念ながら例年と異なった春を迎えそうです。

さて現在、新型コロナウイルス対策を日本だけではなく世界が一体となって取り組んでいますが、当法人としても明確な正解がない中、様々な情報を収集し、関係機関と相談・調整しながら、様々な対応・対策を行ってきました。今までインフルエンザやノロウイルス等でやってきた感染予防対策に始まり、三密（密閉・密集・密接）を避ける対策、感染者が発生した時の対策などが挙げられますが、現在はワクチン接種対応など、様々な経験をさせて頂いています。このような状況の中、色々感じる事、考えさせられる事がありますが、私はできるだけ「良い事・悪い事を含め、経験を糧に前向きに良い方向に進んで行こう」と心掛けています。

私は「池上彰のニュース そうだったのか！」のテレビ番組が好きでよく視聴していますが、感染症がテーマとして取り上げられた時がありました。紀元前から行われていた人類と天然痘やペストと言った感染症との闘いの歴史が取り上げられていましたが、大きな被害を受けながらも、なんとか感染症を克服しようと取り組んできた歴史でもあり、確実に前に進む成果を上げてきたと実感できる内容でした。日本におけるマスクの発展の歴史でも、大正期に流行したスペイン風邪対策から始まり、先人の鋭意工夫の賜物で、現在の感染予防効果の高いマスクに繋がっています。このような事例は感染症だけでなく、直近では東日本大震災も挙げられ、津波、避難生活への対策の枠組みや技術の開発が進んでいます。先日も震災10年の特集番組の中で、震災被害を受けた企業が防災食（ゼリー）の開発に繋げ、実際に先日の宮城県沖地震の時に役立ったと取り上げられていました。

私たち福祉業界でも、新型コロナウイルスと言う今まで経験した事のない脅威に、皆さんと一緒に立ち向かっています。様々な課題にぶつかりながらも、今まで日本人、広く言えば人類が立ち向かってきたように、これらを糧に将来の発展を目指す気持ちで、少しずつでも良いので前に進んで行きたいと思っておりますので、引き続きご協力をお願いします。



特別養護老人ホーム



新人職員紹介



2階
西 亮太 (にしりょうた)

4月から、2階で働かせていただきます。利用者様が「安心して生活できる」支援を心がけ、明るく元気よく取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



ひまわり
木学美月 (きがくみつき)

3階ひまわりの配属となりました木学美月です。利用者様に寄り添ったサポートができるように、日々精進して参ります。よろしくお願い致します。



いちご
清水愛花 (しみずあいか)

4月から、3階いちごで働くことになりました清水愛花です。利用者様の笑顔を大切に頑張りますので、よろしくお願い致します。



オンライン面会



4月も引き続きオンライン面会を実施致します。4月の日程につきましては、別途案内を郵送させていただきますので、ご確認をお願い致します。

オンライン面会にお越しの際は、玄関にある消毒液で手指の消毒とマスクの着用、面会シートの記入をお願い致します。ご理解とご協力をお願い致します。

4月の予定

14日(水)	ご馳走の日	昼食	12:00~
16日(金)	移動理美容室	玄関前	9:30~

「密閉・密集・密接」を避けるため、集団で大きな声を出すようなレクリエーションや行事は全て中止させていただきます。

少人数での散歩、喫茶花林や売店のデリバリーを利用し、個別で対応させていただきます。

感染症の状況をみながら活動の再開を検討して参ります。

食事レク



食事レクとして、食堂で厨房の職員さんに天ぷらを作ってもらいました。机には、いろいろな野菜の天ぷらが並び、利用者様に好きな具材を選んでいただきました。見た目にも豪華で選ぶ楽しさもあり、とても好評でした。

デイサービス

鉄板おやつを楽しむ会



五平餅

たこ焼き



コロナ禍でなかなかできませんが、月に1回はおやつレクリエーションを企画しています。3月は「鉄板おやつ」の企画でした。

1単位目は「五平餅」。炊いたもち米を少しつぶして小判型に成形。ホットプレートで焦げ目をつけ、味噌だれをかけてお出ししました。味噌だれには、くるみを細かく砕いて混ぜ、風味をつけました。美味しい物を食すときはどなたでも笑顔になりますね！

2単位目は「たこ焼き」。ホットプレートだけではなく、ガスのたこ焼き器も登場。外はカリッと、中はふんわりの美味いたこ焼きと言いたいところですが、中身はウインナーでした。ノンアルコールビール片手に熱々のたこ焼きを頬張る方もいらっしゃいました。

お楽しみお風呂 3デイズ

毎月26日前後の3日間は「お楽しみお風呂3デイズ」を開催。様々な入浴剤を入れ、入浴後は特別な飲み物を用意しています。3月は「さくらにがり湯」。飲み物は「イチゴヨーグルト」でした。この「お風呂3デイズ」、今年度は「温泉シリーズ」と称して全国の温泉風入浴剤を入れる予定です。乞うご期待！



1単位目では、希望される方を対象に「折り紙教室」を行っています。毎月、季節の花や飾りものなどを作っています。作った折り紙の花を、まるで本物のようにご自宅の玄関に生けて下さる方もいらっしゃいます。3月はチューリップを折りました。色とりどりのかわいいチューリップの花が咲きました。

こんな感じで玄関に飾って下さっています



折り紙教室

ケアハウス



春満開

あちらこちらで、春のたよりが届いて来る季節となりました。ここ、ケアハウスでも沢山の春をご利用様と一緒に感じました。さくらまつりが開催出来ないため、施設に春を運びたくフェルトでお花を作り、職員、パートさんにも身に付けてもらうこととなり、ケアハウスご利用様には沢山のお手伝いを頂きました。お花を作るフェルトの生地のカットや、飾り止めのゴムを縫い付ける作業など、150個ほどのお手伝いです。完成品は、とても綺麗な仕上がりになりました。

次に、季節の飾り付けです。コロナ禍で行事などが出来ない中、ケアハウスの玄関は春満開です。桜の花びらをカットし、一つのつるし飾りに仕上げ、時には花びらの中に塗り絵を切り抜き、てんとう虫などが飛んでいたりと工作のお手伝いをお願いしました。



おやつレクは、花見にちなんで団子を作りました。味もみたらし味、よもぎ味と2種。一口サイズのお餅で「出来立て、美味しかったよ」と、またご利用様からおほめのお言葉を頂きました。



畑

ケアハウスの畑では、夏に収穫の出来るじゃが芋の種芋を植えました。土から顔を出し、元気な姿を見せてくれました。



寄付御芳名について

年4回掲載させていただいております「寄付御芳名」につきましては、令和3年4月より法人ホームページ上に掲載することと致します。ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

【法人ホームページアドレス】

<https://www.ichigoichie.or.jp>